

シロイチモジヨトウ情報第1号

(ダイズ、野菜類、花き類)

令和7年7月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

一部地域のフェロモントラップ誘殺数が増加しています！

1 発生状況

一部地域のフェロモントラップにおける直近1ヶ月の総誘殺数が多い（図）。

- ・長久手市のほ場では109頭（平年31頭、前年91頭）と過去10年間と比較して最も多い。
- ・西尾市のダイズほ場では440頭（平年179頭、前年345頭）と過去6年間と比較して最も多い。

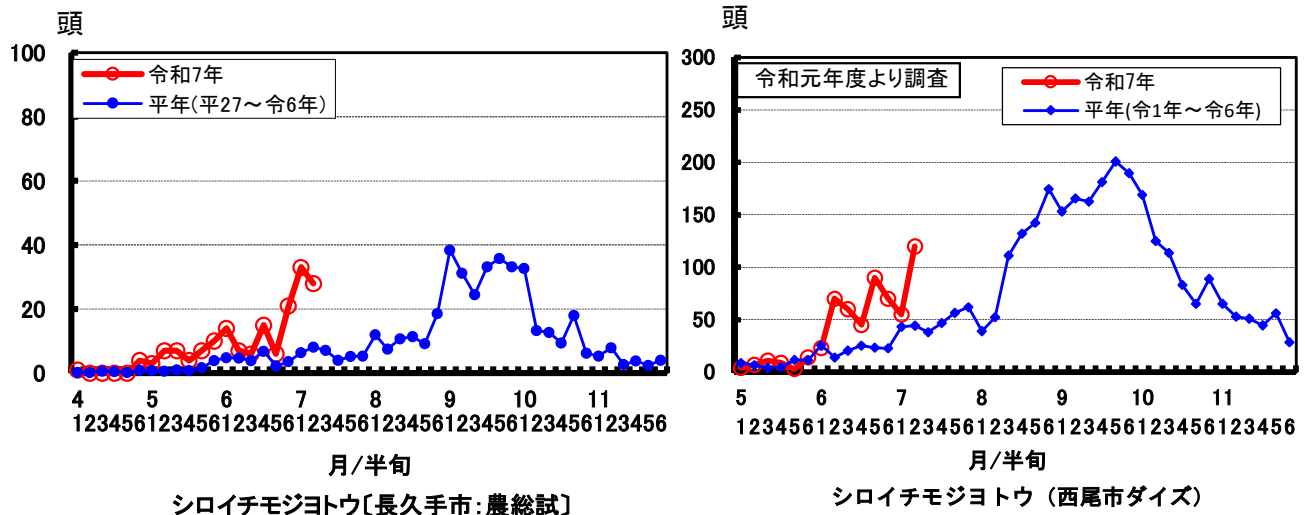


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

2 今後の見込みと防除対策

名古屋地方气象台7月10日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いとされており、本種の発生に好適な条件が続くと予想されます。今後、発生量がさらに増加する可能性があります。ほ場を観察し、幼虫を確認したら防除しましょう。

（参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)）

なお、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。

また、ダイズの生育初期に白変葉を確認した場合、シロイチモジヨトウによる食害の可能性も考えられることから、幼虫をよく確認し、ハスモンヨトウと間違えないように注意して防除しましょう（※）。

（※：虫ごとに農薬登録が異なる。また、地域によって両種の薬剤感受性低下状況が異なる。）